



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月12日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社オールアバウト
コード番号 2454 URL <https://corp.allabout.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江幡 哲也
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 森田 恭弘 (TEL) 03-6362-1300
定時株主総会開催予定日 2025年6月25日 配当支払開始予定日 2025年6月10日
有価証券報告書提出予定日 2025年6月24日
決算補足説明資料作成の有無 : 有 <https://corp.allabout.co.jp/ir/>
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績(2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	15,954	1.6	10	—	10	—	△39	—
2024年3月期	15,703	△7.2	△461	—	△438	—	△456	—

(注) 包括利益 2025年3月期 △24百万円(—%) 2024年3月期 △452百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	△2.80	—	△1.0	0.1	0.1
2024年3月期	△32.96	—	△10.7	△5.4	△2.9

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 9百万円 2024年3月期 14百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	8,410	4,447	48.1	289.50
2024年3月期	8,175	4,470	50.0	294.07

(参考) 自己資本 2025年3月期 4,048百万円 2024年3月期 4,086百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	249	△448	△42	1,632
2024年3月期	340	△384	18	1,874

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00	41	—	1.0
2025年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00	41	—	1.0
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 2025年3月期の配当原資は、その他資本剰余金としております。詳細は、後述の「その他資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳」をご覧ください。

2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末における配当予想額は未定であります。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	7,900	6.0	△185	—	△185	—	△160	△11.46
通期	16,700	4.7	100	825.9	100	854.6	0	0.00

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ー 社 (社名) ー、除外 ー 社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期	14,103,600株	2024年3月期	14,103,600株
② 期末自己株式数	2025年3月期	118,216株	2024年3月期	206,363株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	13,956,008株	2024年3月期	13,835,627株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	1,343	1.3	△612	—	△197	—	△204	—
2024年3月期	1,326	△30.7	△770	—	△194	—	△281	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年3月期	△14.66		—					
2024年3月期	△20.33		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2025年3月期	3,575		2,229		62.2		158.98	
2024年3月期	3,562		2,433		68.1		174.63	

(参考) 自己資本 2025年3月期 2,223百万円 2024年3月期 2,426百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2025年5月12日(月)に機関投資家・アナリスト向けにオンラインにて決算説明会を開催する予定です。この決算説明会で使用する説明会資料は、決算発表後、また、動画配信、質疑応答等については決算説明会開催後、速やかに当社ウェブサイト (<https://corp.allabout.co.jp/ir/>) に掲載する予定です。

※その他資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳

2025年3月期のうち、その他資本剰余金を配当原資とする配当金の内訳は以下のとおりです。

基準日	期末	合計
1株当たり配当金	3円00銭	3円00銭
配当金総額	41百万円	41百万円

(注)純資産減少割合 0.017

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、雇用情勢・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかに回復しました。しかしながら、通商政策などアメリカの政策動向による影響や中国経済の先行き懸念、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響懸念など、依然として先行き是不透明な状況が続いています。当社グループが展開するサービスを取り巻く環境は、進展するデジタル技術や長引く人手不足などを背景に、デジタル技術を活用し、業務の効率化やコスト競争力の強化、売上拡大などに繋がるサービスに対する需要が、引き続き高まっている状況にあります。

このような経営環境下で当社グループは、トライアルマーケティング&コマース事業とメディア&デジタルマーケティング事業を中心に、「個人を豊かに、社会を元気に。」というミッションのもと、総合情報サイト「A11 About」における「ガイド」に代表されるような個人のチカラを活かし、ユーザーやクライアントの皆様にとって最適なソリューション及びサービスを提供すべく、グループ経営を推進してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は15,954百万円(前連結会計年度比1.6%増)、営業利益は10百万円(前連結会計年度は営業損失は461百万円)、経常利益は10百万円(前連結会計年度は経常損失は438百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失は39百万円(前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失456百万円)となりました。

報告セグメントの状況は以下のとおりであります。

(マーケティングソリューションセグメント)

マーケティングソリューションセグメントにおきましては、検索エンジンのロジック変更等によるメディアセッション数の減少が見られたものの、インターネット広告単価は堅調に推移しました。加えて、デジタルマーケティングのけん引等もあり、売上が増加いたしました。また、費用面に関しては一般管理費の減少もあり、前年同連結会計年度比で増収増益となりました。

以上の結果、マーケティングソリューションセグメントの外部顧客に対する売上高は2,101百万円(前連結会計年度比2.4%増)、セグメント損失は85百万円(前連結会計年度はセグメント損失263百万円)となりました。

(コンシューマサービスセグメント)

コンシューマサービスセグメントにおきましては、事業撤退した生涯学習事業の減収影響があるものの、サンブル百貨店の復調などで売上が増加しました。費用面ではトライアルマーケティング&コマース事業における粗利率の向上や生涯学習事業の撤退に伴う損失縮小等がありました。

以上の結果、コンシューマサービスセグメントの外部顧客に対する売上高は13,853百万円(前連結会計年度比1.5%増)、セグメント利益は507百万円(前連結会計年度比102.6%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は5,999百万円となり、前連結会計年度末に比べ222百万円増加いたしました。これは主に未収入金が406百万円、商品及び製品が89百万円増加した一方で、現金及び預金が241百万円減少したことによるものであります。

当連結会計年度末における固定資産は2,411百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が89百万円、ソフトウェア仮勘定が47百万円増加した一方で、ソフトウェアが79百万円、破産更生債権等が14百万円、繰延税金資産が28百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は3,877百万円となり、前連結会計年度末に比べ322百万円増加いたしました。これは主に未払金が439百万円増加した一方で、未払費用が82百万円減少したことによるものであります。

当連結会計年度末における固定負債は85百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円減少いたしました。これは主に退職給付引当金が48百万円、資産除去債務が4百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は4,447百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する当期純損失を39百万円計上したことで、利益剰余金が39百万円減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、249百万円の増加となりました。これは、税金等調整前当期純損失が17百万円、減価償却費が375百万円、売上債権の減少額が62百万円、その他流動負債の増加額が355百万円発生した一方、棚卸資産の増加額が92百万円、その他の流動資産の増加額が447百万円発生したこと等によるものです。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは、448百万円の減少となりました。これは、投資有価証券の取得による支出が100百万円、有形固定資産の取得による支出が30百万円、無形固定資産の取得による支出が318百万円発生したこと等によるものです。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度の財務活動によるキャッシュ・フローは、42百万円の減少となりました。これは、配当金の支払額が41百万円発生したことによるものです。

(参考)キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2024年 3月期	2025年 3月期
自己資本比率(%)	50.0	48.1
時価ベースの自己資本比率(%)	67.1	65.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は貸借対照表上に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(注5) キャッシュ・フロー対有利子負債比率につきましては、有利子負債がないため記載しておりません。

(注6) インタレスト・カバレッジ・レシオについては、利払いがないため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、物価上昇や金融政策の変更による金利上昇に加え、米国の今後の政策動向による世界経済への影響等、不透明な経営環境が続くと予想されます。一方、生活者のデジタルメディアやeコマースの利用が増加し、また、デジタル技術を用いてビジネスモデルやビジネスプロセスを変革する「デジタル・トランスフォーメーション(DX)」の浸透と相まって、法人におけるデジタルマーケティング活動に対する需要が近年急激に高まっており、この流れは今後も継続するものと予想されます。

このような事業環境の中、デジタルメディアやトライアルマーケティング&コマースを事業の主軸とする当社グループはこうした変化を機会と捉え、更なる事業拡大を図ってまいります。

以上をふまえ、2026年3月期の連結業績予想につきましては、売上高16,700百万円、営業利益100百万円、経常利益100百万円、親会社株主に帰属する当期純利益0百万円を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,874,711	1,632,761
売掛金	1,830,949	1,782,412
未収入金	1,671,460	2,078,102
商品及び製品	295,895	385,401
未成制作費	1,362	77
前払費用	83,663	92,147
その他	23,009	31,666
貸倒引当金	△4,000	△3,100
流動資産合計	5,777,051	5,999,469
固定資産		
有形固定資産		
建物	291,948	290,545
減価償却累計額	△57,739	△77,352
建物（純額）	234,208	213,193
工具、器具及び備品	87,221	86,061
減価償却累計額	△59,383	△60,376
工具、器具及び備品（純額）	27,837	25,685
有形固定資産合計	262,046	238,878
無形固定資産		
のれん	4,195	1,219
ソフトウェア	938,033	858,671
ソフトウェア仮勘定	33,659	81,148
その他	522	522
無形固定資産合計	976,410	941,562
投資その他の資産		
投資有価証券	469,365	558,510
関係会社株式	80,999	90,037
破産更生債権等	15,938	1,810
差入保証金	317,503	319,848
繰延税金資産	258,387	229,536
その他	33,606	33,088
貸倒引当金	△15,938	△1,810
投資その他の資産合計	1,159,863	1,231,022
固定資産合計	2,398,320	2,411,463
資産合計	8,175,371	8,410,932

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,005,654	1,054,217
未払金	1,809,439	2,248,792
未払費用	475,822	393,218
未払法人税等	15,245	30,700
未払消費税等	53,648	35,142
前受金	51,360	83,552
預り金	24,637	19,235
その他	119,754	12,817
流動負債合計	3,555,563	3,877,676
固定負債		
退職給付に係る負債	48,397	—
資産除去債務	87,688	83,520
その他	13,056	2,459
固定負債合計	149,142	85,979
負債合計	3,704,706	3,963,655
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,318,616	1,318,616
資本剰余金	2,049,088	1,897,166
利益剰余金	1,037,484	998,430
自己株式	△321,356	△167,916
株主資本合計	4,083,833	4,046,296
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,889	2,452
その他の包括利益累計額合計	2,889	2,452
新株予約権	6,130	6,130
非支配株主持分	377,813	392,397
純資産合計	4,470,665	4,447,276
負債純資産合計	8,175,371	8,410,932

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	15,703,035	15,954,371
売上原価	6,501,208	6,342,736
売上総利益	9,201,826	9,611,634
販売費及び一般管理費	9,662,986	9,600,833
営業利益又は営業損失(△)	△461,159	10,800
営業外収益		
受取利息	1,586	2,159
受取配当金	3,000	3,000
持分法による投資利益	14,681	9,038
助成金収入	1,750	—
その他	6,200	4,797
営業外収益合計	27,217	18,996
営業外費用		
投資有価証券評価損	4,077	5,509
消費税等差額	421	7,777
譲渡制限付株式関連費用	—	4,176
その他	—	1,857
営業外費用合計	4,498	19,321
経常利益又は経常損失(△)	△438,440	10,475
特別利益		
投資有価証券売却益	41,151	—
倉庫移転費用戻入益	—	4,834
事業譲渡益	—	4,027
その他	50	878
特別利益合計	41,201	9,739
特別損失		
固定資産除却損	461	0
減損損失	19,652	—
投資有価証券評価損	47,999	2,995
倉庫移転費用	51,311	—
事業構造改善費用	139,140	—
特別損失合計	258,564	2,995
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△655,803	17,220
法人税、住民税及び事業税	7,430	25,759
法人税等調整額	△206,513	15,930
法人税等合計	△199,082	41,689
当期純損失(△)	△456,720	△24,469
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△706	14,584
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△456,014	△39,054

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純損失(△)	△456,720	△24,469
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,914	△437
その他の包括利益合計	3,914	△437
包括利益	△452,805	△24,906
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△452,099	△39,491
非支配株主に係る包括利益	△706	14,584

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,288,720	2,153,747	1,493,499	△460,890	4,475,077
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	29,895	29,895			59,791
剰余金の配当		△40,994			△40,994
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△456,014		△456,014
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△93,560		139,533	45,973
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	29,895	△104,659	△456,014	139,533	△391,244
当期末残高	1,318,616	2,049,088	1,037,484	△321,356	4,083,833

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	△1,024	△1,024	6,323	378,519	4,858,894
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)					59,791
剰余金の配当					△40,994
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)					△456,014
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					45,973
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	3,914	3,914	△193	△706	3,015
当期変動額合計	3,914	3,914	△193	△706	△388,229
当期末残高	2,889	2,889	6,130	377,813	4,470,665

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,318,616	2,049,088	1,037,484	△321,356	4,083,833
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)					—
剰余金の配当		△41,691			△41,691
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△39,054		△39,054
自己株式の取得					—
自己株式の処分		△110,230		153,439	43,209
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	△151,922	△39,054	153,439	△37,536
当期末残高	1,318,616	1,897,166	998,430	△167,916	4,046,296

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	2,889	2,889	6,130	377,813	4,470,665
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)					—
剰余金の配当					△41,691
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)					△39,054
自己株式の取得					—
自己株式の処分					43,209
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△437	△437	—	14,584	14,147
当期変動額合計	△437	△437	—	14,584	△23,388
当期末残高	2,452	2,452	6,130	392,397	4,447,276

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△655,803	17,220
減価償却費	373,396	375,671
減損損失	19,652	—
のれん償却額	2,976	2,976
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,069	△15,029
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,700	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,902	△48,397
受取利息及び受取配当金	△4,586	△5,159
助成金収入	△1,750	—
持分法による投資損益(△は益)	△14,681	△9,038
新株予約権戻入益	△50	—
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△115
固定資産除却損	461	0
投資有価証券評価損益(△は益)	52,076	8,504
投資有価証券売却損益(△は益)	△41,151	—
倉庫移転費用	51,311	—
事業構造改善費用	139,140	—
売上債権の増減額(△は増加)	190,464	62,665
棚卸資産の増減額(△は増加)	△65,982	△92,045
仕入債務の増減額(△は減少)	△61,469	48,562
未払消費税等の増減額(△は減少)	45,985	△23,937
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△159,402	△447,617
未払費用の増減額(△は減少)	102,549	△82,603
その他の流動負債の増減額(△は減少)	274,080	355,704
その他の固定資産の増減額(△は増加)	35,240	38,609
その他	—	161
小計	279,592	186,131
利息の受取額	3,017	3,351
助成金の受取額	1,750	—
法人税等の支払額	△82,445	△2,846
法人税等の還付額	138,571	62,399
営業活動によるキャッシュ・フロー	340,485	249,036
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△142,468	△100,057
投資有価証券の売却による収入	67,584	—
有形固定資産の取得による支出	△4,817	△30,556
有形固定資産の売却による収入	—	115
無形固定資産の取得による支出	△294,533	△318,908
資産除去債務の履行による支出	—	△709
長期貸付金の回収による収入	435	—
差入保証金の差入による支出	△11,304	△4,048
差入保証金の回収による収入	247	3,510
その他	—	1,832
投資活動によるキャッシュ・フロー	△384,856	△448,820
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△41,037	△41,880
新株予約権の行使による株式の発行による収入	59,648	—
その他	△319	△286
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,291	△42,166
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△26,079	△241,950
現金及び現金同等物の期首残高	1,900,791	1,874,711
現金及び現金同等物の期末残高	1,874,711	1,632,761

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、サービス別の当社事業部及び子会社を置き、各事業部及び子会社は、サービスの向上と売上及び利益の拡大を目指し、国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業部及び子会社を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「マーケティングソリューション」「コンシューマサービス」の2つを報告セグメントとしております。

「マーケティングソリューション」は、主に広告商品の企画・販売・掲載及びその他の法人向けサービスの提供をしております。「コンシューマサービス」は、主に一般消費者向けにeコマース関連及び会員向けサービスの提供をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注1) (注2) (注3) (注4)	合計
	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス (注3)	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	2,051,143	13,651,892	15,703,035	—	15,703,035
外部顧客への売上高	2,051,143	13,651,892	15,703,035	—	15,703,035
セグメント間の内部売上高 又は振替高	56,950	610	57,560	△57,560	—
計	2,108,093	13,652,502	15,760,595	△57,560	15,703,035
セグメント利益	△263,059	250,398	△12,661	△448,498	△461,159
その他の項目					
減価償却費	35,975	307,527	343,503	29,893	373,396
のれん償却費	2,976	—	2,976	—	2,976
持分法投資利益	—	14,681	14,681	—	14,681
減損損失	11,927	15,869	27,797	12,834	40,632

- (注) 1. セグメント利益の調整額△448,498千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 減損損失のコンシューマサービス15,869千円のうち8,145千円と、調整額12,834千円は連結損益計算書上、「事業構造改善費用」に含まれております。
4. 各セグメントに帰属しない有形固定資産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失12,834千円を「事業構造改善費用」としております。
5. 当社では、報告セグメントに資産を配分していないため、セグメント資産は開示しておりません。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1) (注2)	合計
	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	2,101,320	13,853,050	15,954,371	—	15,954,371
外部顧客への売上高	2,101,320	13,853,050	15,954,371	—	15,954,371
セグメント間の内部売上高 又は振替高	38,237	200	38,437	△38,437	—
計	2,139,558	13,853,250	15,992,808	△38,437	15,954,371
セグメント利益	△85,431	507,374	421,942	△411,142	10,800
その他の項目					
減価償却費	20,843	329,572	350,415	25,255	375,671
のれん償却費	2,976	—	2,976	—	2,976
持分法投資利益	—	9,038	9,038	—	9,038

- (注) 1. セグメント利益の調整額△411,142千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 当社では、報告セグメントに資産を配分していないため、セグメント資産は開示しておりません。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス (注1)	全社・消去 (注1) (注2)	合計
減損損失	11,927	15,869	12,834	40,632

(注) 1. 減損損失のコンシューマサービス15,869千円のうち8,145千円と、全社・消去12,834千円は連結損益計算書上、「事業構造改善費用」に含まれております。

2. 各セグメントに帰属しない有形固定資産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失12,834千円を「事業構造改善費用」としております。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス	全社・消去	合計
当期償却額	2,976	—	—	2,976
当期末残高	4,195	—	—	4,195

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 千円)

	マーケティング ソリューション	コンシューマ サービス	全社・消去	合計
当期償却額	2,976	—	—	2,976
当期末残高	1,219	—	—	1,219

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	294.07円	289.50円
1株当たり当期純損失(△)	△32.96円	△2.80円

(注) 1株当たり当期純損失(△)及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益		
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△456,014	△39,054
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純損失(△)(千円)	△456,014	△39,054
普通株式の期中平均株式数(株)	13,835,627	13,956,008
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益の算定に含めなかった 潜在株式の概要	—	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。